

2015年12月7日

スズキ「アルト／アルト ターボRS／アルト ラパン」が 2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー 「スモールモビリティ部門賞」を受賞



アルト



アルト ターボRS



アルト ラパン

スズキ株式会社の軽乗用車「アルト」、「アルト ターボRS」、「アルト ラパン」が、2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー（日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会主催）の「スモールモビリティ部門賞」を受賞した。

「スモールモビリティ部門賞」は、軽自動車を対象に2013年に設定された部門賞である。スズキ車が日本カー・オブ・ザ・イヤーのスモールモビリティ部門賞を受賞するのは「スペーシア／スペーシアカスタム」（2013年）で受賞して以来、今回で2度目となる。

新型「アルト・シリーズ」は、「軽自動車が本来持つべき魅力をとことん追求して登場した、基本性能に極めて優れたモデルとして評価した。技術的にも新開発のプラットフォームや軽量ボディ、スムーズな2ペダルAMTなど注目すべきところが多い。日常的に乗る“アシ”として軽自動車の利点を改めて広くアピールしたと言える。」との高い評価を得て、スモールモビリティ部門賞を受賞した。

新型「アルト・シリーズ」の累計販売台数は約10万2千台にのぼり、多くのお客様にご好評いただいている。1979年の初代発売からの国内累計販売台数は約558万台に達し、スズキの最多販売車種となっている（アルト ラパン含む）。

● 「2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー」の概要

日本カー・オブ・ザ・イヤーの選考は、2014年10月1日から2015年10月31日までに日本国内で発表または発売され、年間500台以上の販売が見込まれる全ての乗用車を対象とした。その中から「日本カー・オブ・ザ・イヤー」、「インポート・カー・オブ・ザ・イヤー」、部門賞（イノベーション部門賞、エモーショナル部門賞、スモールモビリティ部門賞）の3賞が決定される。